

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0626
施設名	さくらんぼ保育園
施設所在地	東京都府中市紅葉丘1-28-1
法人名	社会福祉法人紅葉の会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

木育

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

散歩先や園内で自然に触れる事が多く子どもたちも興味を持っていた。自然の物を拾って楽しむのみに終わらず、その自然物を使用してどのように遊ぶのか。また子ども主導の遊びをすることで子どもが生き生きと遊びに参加するのではないか。

2. 活動スケジュール

9月7日(土) 子どもまつりにて遊びの中で木に触れる
9月25日(水) 遠足でくじら山に行き木の根っこや表面の観察をする
11月6日(水) 遠足で高尾山に行き木の根っこや幹に触れる
11月12日(火) 散歩先でどんぐりや松ぼっくりを拾う
11月14日(木) 拾ってきた木の実や布、刺繍糸などの素材で自由に製作を行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・少人数で座れるよう机を配置した。
- ・材料を机に並べ好きなものを選び取れるようにした。
- ・準備した素材
どんぐり、松ぼっくり、木の枝や葉、モスリン、刺繍糸、ボンド

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・木でできたブロックで遊ぶ。
- ・公園の木の表面を紙でこすりどのような模様や色が付くか観察する。
- ・事前に大人が取ってきた写真と同じ木を探したり木の皮や幹に触れる。
- ・好きな素材を選び想像したものを作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

木の皮を集めてそれを色々な物に見立ててごっこ遊びが展開されていた。

高尾山の木は幹も大きく中に入ったりのぞき込む姿が見られた。

製作では近くに座っている友達の作品を見て質問したり驚いた表情を見せたり、完成した作品を保育者に紹介する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

散歩に出ると自然と木や植物に目が行くようになり進んで触れる姿が増えた。

紙や布などの素材や場所を整えることで遊びが発展していき子ども同士でのやり取りや発見が見られた。興味のある事や楽しいことをその場で共有出来ることで子どもたちの笑顔も増え自然と友達との関わりも広がっていったように思えた。